

授業計画（シラバス）

氏名 **山本百合子 他**

| 授業科目の名称 | アントロポゾフィー医学 | | |
|--|--|-------|--------|
| 配当年次 | 1年次 | 配当学期 | 後期 |
| 年間開講数 | 1回 | 単位数 | 2単位 |
| 必修・選択の別 | 必修 | 授業の方法 | 講義 実習 |
| <p>授業形態 : 講義と実習 目標と授業内容: 統合医療としてのアントロポゾフィー医学は100年前のスペイン風邪のパンデミック後に思想家ルドルフ・シュタイナーと医師イタ・ベークマンにより創始された新しい視点を持つ医学である。この医学は現代医学の進歩と共に歩み続けながら、人間を生理学的な身体のみでなく、哲学的霊的存在としても捉える 多くの視点を持つことにより、医療を病と闘う方法論としてでなく、人間に寄り添い自己成長を援助する実践法であると考え。授業では 人間観を基礎として、病気の診断と治療、そして一人ひとりの人生の道程を視座に入れた人間らしい芸術的な関わりについて理解を深めるため、講義と一部実習を行う。</p> <p>学習評価 :</p> | | | |
| 第1回 | 概説：ホリスティック医学としてのアントロポゾフィー医学 ～医学と人間と社会の関わり～ | | 山本百合子 |
| 第2回 | アントロポゾフィー医学の世界観・人間観 | | 山本百合子 |
| 第3回 | 4構成要素と機能的3分節の身体的理解を深める | | 山本百合子 |
| 第4回 | 病因論と健康生成論、病気の意味 | | 安達晴己 |
| 第5回 | 疾病理解の基礎（1） | | 小林國力 |
| 第6回 | 疾病理解の基礎（2） | | 浦尾 弥須子 |
| 第7回 | アントロポゾフィー薬剤について～7つの惑星と鉱物～ | | 安達晴己 |
| 第8回 | 各治療法の概略とその効果（外用療法、オイリュトミー療法、音楽療法、絵画造形療法など） | | 山本百合子 |
| 第9回 | オイリュトミー療法・音楽療法・絵画造形療法（実習を含む） | | 石川公子 |
| 第10回 | アントロポゾフィー看護（実習を含む） | | 村上？鶴田？ |
| 第11回 | アントロポゾフィー医学的腫瘍学 | | 浦尾弥須子 |
| 第12回 | アントロポゾフィー歯科学 | | 山本勇人 |
| 第13回 | アントロポゾフィー老年学 | | 志水祥介 |
| 第14回 | バイオグラフィー的観点と死生観（包括的宇宙観） | | 山本百合子 |
| 第15回 | 自分を生きるということ（共生と自立） | | 山本百合子 |

参考図書